

### シリーズ No.9 議員事業所紹介

第24期新任議員事業所をシリーズで掲載します。

## 大川鋼機株式会社

佐野市金井上町2254

☎ 22-4334

皆様の会社の「ものづくり」に  
お役に立ちたい大川鋼機です。



大正3年創業以来、この地域の皆様のお役に立てる様、今日までメーカー様の協力のもと取り扱い品目を増やしてまいりました。

一般鋼材、ステンレス材、配管機材、建築材料をはじめ、機械工具、伝動機器、物流機器等、皆様の「ものづくり」に何が必要かを絶えず考え続けております。ネジ1本で現場・工場がストップしない様、社員一同、日進月歩の精神で挑戦して行きたいと思っております。  
(写真は 大川 勇社長)



## 佐野市開市記念にふさわしい盛り上がり

### キャンパーンスタッフ3名も決定

佐野市開市記念・第十三回さの秀郷まつりが八月六日(土)と七日(日)の二日間、佐野駅周辺で盛大に開催された。  
市民総おどり、なかよしプレイランド、和太鼓の競演、みこし・おはやしパレード、それ引けGOGO綱引き合戦、フリーマーケットなど様々なイベントが繰り広げられた。また、注目のお笑いコンビ、いつもこ

こからとアンガールズの爆笑ライブにもたくさんの方が詰めかけた。  
佐野市の顔として、一年間各地のイベント等で活躍するキャンパーンスタッフ三名が決定。ひでさとに関口裕子さん(写真中央)、佐野信用金庫勤務、かたくりに野村桂子さん(同右・佐野市役所勤務)、わたらせには荒川奈保子さん(同左・佐野信用金庫)が選ばれた。  
亀田会頭がオープニングセレモニー、キャンパーンスタッフコンテスト、七日の書道展表式に出席、島田副会頭が機殿神社祭典に参列した他、正副会頭打ちそろって市民総おどり、み



当所では、佐野市の合併を記念した写真コンテスト「合併の一年 新佐野市再発見」の野市再発見の作品を広く応募している。  
対象作品は「新佐野市」や「合併」を象徴するものであれば、風景や風物、催事、街並みやそこに暮らす人

写真コンテスト作品募集集中  
テーマは新佐野市  
当所では、佐野市の合併を記念した写真コンテスト「合併の一年 新佐野市再発見」の野市再発見の作品を広く応募している。  
対象作品は「新佐野市」や「合併」を象徴するものであれば、風景や風物、催事、街並みやそこに暮らす人々など題材は自由。どなたでも応募できる。  
最優秀賞(二名)には賞金三万円、優秀賞(五名)には同一万円、佳作(十五名)には同一万円と、それぞれに賞状と副賞を贈呈。締切は平成十八年一月十日(当日消印有効)。  
応募点数は一人四点以内。  
来春には、合併の一年を振り返る写真展を開催している。  
(五十嵐)

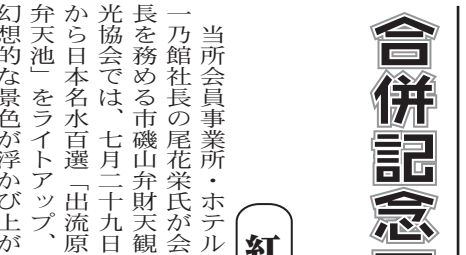
## 「観光振興で地域力を発揮しよう」 商工会議所観光振興大会参加者募集

日本商工会議所(山口信夫会頭)では、十月十四日(金)・十五日(土)の二日間、岡山県倉敷市で「商工会議所観光振興大会2005」を観光振興で地域力を発揮しよう」を開催する。  
これは、商工会議所会員等の観光に対する意識改革と普及啓発を図り、街づくり運動の一環として観光振興を促進することを目的に開催。地域経済や中小企業において本格的な景気回復が実感できない中、観光振興

参加費用は一人あたり六万五千円程度(部会で一部負担いたします)。  
お申込、お問い合わせは当所業務課(☎二二一五五一一)まで。(小倉)

障害者雇用示そう 社会の輪  
9月は障害者雇用支援月間です。障害者に、より多くの雇用機会が出来ますよう、市民の皆様と事業主の皆様の深いご理解とご協力をお願いいたします。  
また、今年も県南地区(小山・栃木・佐野・足利)を対象とした障害者の合同面接会を開催いたします。たくさんの方が就職できるよう事業主の皆様の深いご理解とご協力をお願いいたします。  
◇日時・10月14日(金) 午後1:00～受付1:30～開始  
◇場所・小山市神鳥谷(50号バイパス、旧4号交差点角)  
※問い合わせ先: ハローワーク佐野 電話 22-6260

昨年(写真は)は栃木県で開催された(写真は)ホテル東日本宇都宮



合併記念で弁天池を  
ライトアップ  
紅葉シーズンまで

当所会員事業所・ホテル一乃館社長の尾花栄氏が会長を務める市磯山弁天池観光協会では、七月二十九日から日本名水百選「出流原弁天池」をライトアップ、幻想的な景色が浮かび上がり人気を呼んでいる。  
これは同協会が、合併により新佐野市が誕生したこと



幻想的で風情あふれる弁天池

複合商業施設  
「P&D SANNO」完成  
株式会社P&D SANNO(宇都宮市・陳賢徳社長)は八月三日(水)、佐野新都市に複合商業施設「フレドラP&D SANNO」をオープンした。  
同施設には、株東急レクリエーションが運営するシネマコンプレックス「109シネマズ佐野」が核として入居。その他にもゲームセンターやインターネットカフェ、飲食店なども営業を開始した。  
ブルーヒルズ社は、商圏半径二十キロ、年間百五十万人の来場を見込んでいる。ちなみに「フレドラ」とは「フェニックス」とドラゴンを合わせた言葉だという。  
オープンに先立ち、八月二

